

科目名称 知的ソフトウェア開発論

概要 情報システム開発の様々なフェーズにおける知的支援や知的なソフトウェアの開発のために必要な方法論として、知識マネジメント、知識発見、知的情報検索などの最新技術の紹介と、その応用事例について講述する。

前提知識 特になし

教科書 使用しません

参考書

- ・Jiawei Han, Micheline Kamber 著 Data Mining: Concepts and Techniques (Second Edition)、Morgan Kaufmann Pub、2006
- ・元田 浩、山口 高平、津本 周作、沼尾 正行 著 データマイニングの基礎、オーム社、2006
- ・Grigoris Antoniou, Frank van Harmelen 著 CD-ROMで始めるセマンティックWeb JUST SYSTEM、ISBN4-88309-273-9
- ・徳永 健伸 著、情報検索と言語処理、東京大学出版会、1999
- ・R. Baeza-Yates, Berthier Ribeiro-Neto 著 Modern Information Retrieval、Addison-Wesley、1999

第()回	担当名	タイトル	講義内容
第1回	大川剛直	知識マネジメント	情報システムの開発において必要な知識管理について述べた後、知識の抽出、格納、再利用、共有などの知識管理の方法について概説する。また、代表的な知識管理システムの枠組みについて紹介する。
第2回	尾崎知伸	データマイニング	知識管理のための強力な手段の1つとして、大量データの中から有用な知識を抽出、格納、再利用、データマイニングの様々な技法について解説するとともに、その応用事例について紹介する。
第3回	安村禎明	知識共有	知識を共有するための方法について、オントロジやセマンティックウェブなどのメタデータに基づくアプローチや、グループウェアによる方法などを取り上げて解説する。
第4回	江口浩二	知的情報検索	膨大なテキストデータからのエンティティ検索、トピック検出、各種関係抽出など、知識の再利用に必要不可欠な高度な情報検索を実現するための各種技法について解説する。
第5回	関 和広	情報検索アプリケーション	情報検索技術を活用した知識再利用のためのアプリケーション技術として、質問応答システムやヘルプデスク支援システムを取り上げて解説する。

・撮影・教材作成
 - 京大メディアセンター(スタジオ)を利用あるいは自前で(検討中)

・撮影希望時期/完成予定時期(12月上旬, 1月下旬などの粒度で)
 1月下旬以降